

H. : Effect of Ginseng Principle on Pyruvate Kinase Activity in Rat Liver. Chem. Pharm. Bull. (Tokyo) **27**(2) : 419-423, 1979.

3) Yokozawa T. and Oura H. : Effect of Ginseng Saponin on Serine Dehydratase Activity in Rat Liver. Chem. Pharm. Bull. (Tokyo) **27**(10) : 2494-2497, 1979.

4) Hiai S., Sasaki S. and Oura H. : Effect of Ginseng Saponin on Rat Adrenal Cyclic AMP. Planta Medica **37**(1) : 15-19, 1979.

5) Hiai S., Yokoyama H., Oura H. and Yano S. : Stimulation of Pituitary-Adrenocortical System by Ginseng Saponin. Endocrinol. Jpn. **26**(6) : 661-665, 1979.

6) Hiai S., Yokoyama H. and Oura H. : Features of Ginseng Saponin-induced Corticosterone Secretion. Endocrinol. Jpn. **26**(6) : 737-740, 1979.

◆ 学会報告

1) 五十嵐省吾, 大浦彦吉, 岡 裕爾, 織田敏次 : ニンジンサポニンと肝のアミノ酸代謝, 第65回日本消化器病学会総会, 1979. 4, 東京.

2) 横澤隆子, 長澤哲郎, 大浦彦吉, 中川 眸, 米原久美子 : 低蛋白栄養状態における血清総蛋白・アルブミンの変動, 第33回日本栄養・食糧学会総会, 1979. 5, 東京.

3) 長澤哲郎, 渋谷真也, 大浦彦吉, 正山征洋, 野中源一郎, 西岡五夫 : 和漢薬の BUN 低下作用成分の研究 (その 1) 大黃からの活性成分の検索, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

4) 野中源一郎, 正山征洋, 西岡五夫, 大浦彦吉, 長澤哲郎 : 大黃に関する研究(V) タンニンについて(1), 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

5) 渋谷真也, 長澤哲郎, 大浦彦吉 : 大黃のアミノ酸代謝の動態に及ぼす影響, 日本薬学会第99年会 1979. 8, 札幌.

6) 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉 : サイコサポニンその他2, 3のサポニンのラット血漿コルチコステロン値に及ぼす作用, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

7) 長澤哲郎, 横澤隆子, 西野由絵, 大浦彦吉 : 高速液体クロマトグラフィーによる薬用人参サポニンの迅速大量分離法について, 第13回和漢薬シンポジウム, 1979. 9, 福岡.

8) 横澤隆子, 大浦彦吉 : 薬用人参サポニンの糖, 脂質, アミノ酸代謝作用, 薬用人参セミナー, 1979. 11, 広島.

9) 五十嵐省吾, 大浦彦吉, 織田敏次 : ニンジンサポニンと肝の蛋白質代謝, 薬用人参セミナー, 1979. 11, 広島.

10) 日合 奨, 横山弘臣, 大浦彦吉 : 薬用人参サポニンの下垂体-副腎皮質系刺激作用, 薬用人参セミナー, 1979. 11, 広島.

11) 長澤哲郎, 日合 奨, 大浦彦吉 : 薬用人参サポニンの分離・定量について, 薬用人参セミナー, 1979. 11, 広島.

病 態 生 化 学

教 授	荻 田 善 一
助 教 授	中 島 松 一
助 手	山 村 研 一
助 手	片 山 和 信
文 部 技 官	林 和 子

◆ 原 著

1) Yamamura K., Ogita Z. and Markert C. L. : Epigenetic Formation of Lactate Dehydrogenase Isozymes in the House Mouse, *Mus musculus*. The Journal of Experimental Zoology **208** : (3)271-280, 1979.

2) Ogita Z. and Markert C. L. : A Miniaturized System for Electrophoresis on Polyacrylamide Gels. Analytical Biochemistry **99** : 233-241, 1979.

3) Nakashima S., Sakai Y., Umeda Y. and Takatsu K. : Studies on Delayed Hypersensitivity to Protein Antigen. Microbil. Immunol **23**(2) : 105-116, 1979.

4) Nakashima S., Ueda Y. and Kanada T. : Effect of Polysaccharides from *Ganoderma applanatum* on Immune Responses. Microbil. Immunol. **23**(6) : 501-513, 1979.

5) 中島松一, 梅田幸男, 金田 平 : 梅寄生 (*Ganoderma Applanatum*) 多糖体の遅延型過敏反応誘導に対する効果, Proc. Symp. WAKAN-YAKU **12** : 48, 1979.

◆ 総説・その他

1) 荻田善一, 窪田裕子 : X染色体の不活性化-遺伝子量補償機構一, 代謝 **16** : 429-444, 1979.

2) 荻田善一 : 酵素変異の遺伝生化学, 遺伝学と医学 **159-191**, 1979.

3) C. L. Markert, 山村雄一, 荻田善一, 松本圭史 編 : 性 I, II **720**, 中山書店 1979.

◆ 翻 訳

1) F. H. Ruddle, 北原浪子, 荻田善一 : 遺伝学と医学, 遺伝子移入とゲノム構成, 241-276, 共立出版, 1979.

◆ 抄 録

1) 荻田善一, 岩橋寛治, 林 和子: 血清コリンエステラーゼアイソザイムと罹病性, 生物物理化学 22(3): 252, 1979.

2) 荻田善一, 北原浪子: Testosterone 効果の微量電気泳動法による解析, 生物物理化学 22(3): 235, 1979.

3) 山村研一, 荻田善一, Markert C. L. : 後成的修飾機構によるマウスLDHアイソザイムバンド形成, 生物物理化学 22(3): 248, 1979.

4) 荻田善一, 岩橋寛治, 磯部正治, 宇田川千恵子: 和漢薬効果の電気泳動法的解析, 生物物理化学 23(1): 69, 1979.

5) 小西 徹, 岡田敏夫, 鈴木好文, 荻田善一: SDSポリアクリルアミドゲル電気泳動法による尿蛋白分析—その臨床応用について—, 生物物理化学 23(1): 70, 1979.

6) 荻田善一, 金 溶奎, 林 和子, 松崎沙和子: 薄層電気泳動法によるガガンボの esterase isozyme の遺伝生化学的研究, 生物物理化学 23(1): 84, 1979.

7) 荻田善一, 丸山由紀子, 岡田敏夫, 鈴木好文, 小林 収: 電気泳動法による腎機能検査法の開発, 生物物理化学 22(3): 203, 1979.

◆ 学会報告

1) 松崎沙和子, 岡林加枝, 荻田善一: 薄層寒天電気泳動法によるヤブカの esterase isozyme の遺伝生化学的研究, 電気泳動学会, 1979. 6, 東京.

2) 金 溶奎, 荻田善一, 赤塚 章: 水解酵素の電気泳動法的検出方法の検討, 電気泳動学会, 1979. 6, 東京.

3) 荻田善一, 宇田川千恵子, 林 和子: 毛根を試料とする Hexosaminidase の微量電気泳動法的解析, 電気泳動学会, 1979. 6, 東京.

4) 磯部正治, 岩橋寛治, 荻田善一: 細胞内プロテアーゼの電気泳動法的解析, 電気泳動学会, 1979. 6, 東京.

5) 小西 徹, 岡田敏夫, 鈴木好文, 樋口 晃, 荻田善一: SDSポリアクリルアミドゲル電気泳動法による尿蛋白分析—体位性蛋白尿に関する検討, 電気泳動学会, 1979. 6, 東京.

6) 荻田善一, 金 溶奎, 岩橋寛治, 安光英太郎: 電気泳動法によるジャコウの男性ホルモン様作用の解析, 電気泳動学会, 1979. 10, 札幌.

7) 荻田善一, 宇田川千恵子: LDHサブバンドの後成的修飾機構の電気泳動法的解析, 電気泳動学会, 1979. 10, 札幌.

8) 片山和信, 荻田善一: Across 電気泳動法による泳動条件の決定法, 電気泳動学会, 1979. 10, 札幌.

9) 荻田善一, 宇田川千恵子, 窪田博道, 窪田裕子, 片山和信, 岡田正俊, 広瀬三智子: Mixed gonadal dysgenesis の疑われる 1 症例, 日本人類遺伝学会, 1979. 11, 東京.

10) 荻田善一, 林 和子, 林 真一, 北川照男, 大和田 操: N-acetyl- β -hexosaminidase isozyme の遺伝生化学的研究, 日本人類遺伝学会, 1979. 11, 東京.

11) 荻田善一, 磯部正治, 林 真一, 岩橋寛治: 痛風体質の生化学的異質性の解明, 日本人類遺伝学会, 1979. 11, 東京.

12) Suzuki Y., Okada T., Konishi T., Higuchi A. and Ogita Z.: The Low Molecular Weight of Protein Components in Children Urine, Asian Pacific Congress of Nephrology. 1979. 10, Tokyo.

13) 安光英太郎, 金 溶奎, 岩橋寛治, 荻田善一: 電気泳動法によるジャコウの男性ホルモン様作用の解析, 日本薬学会, 1979. 12, 富山.

14) 磯部正治, 荻田善一: 消化性プロテアーゼの電気泳動法的解析, 日本薬学会, 1979. 12, 富山.

15) 金田 平, 中島松一, 高津聖志: 梅寄生多糖体のIgE抗体産生抑制効果, 日本薬学会, 1979. 8, 札幌.

16) 中島松一, 梅田幸男, 金田 平: 梅寄生(G. applanatum)多糖体過剰量処理による抑制T細胞の誘導, 日本薬学会, 1979. 8, 札幌.

17) 中島松一, 金田 平, 高津聖志: 梅寄生・柴胡抽出物のマウスIgE抗体産生抑制効果, 和漢薬シンポジウム, 1979. 9, 福岡.

化 学 応 用

教 授 菊 池 徹
助 教 授 金 岡 又 雄
助 手 門 田 重 利

◆ 原 著

1) Kikuchi T., Kanaoka M., Hanagaki S. and Kadota S.: Syntheses of 24, 25-Dideoxy-Fasciculol-A and Fasciculol-A, Constituent of Naematoloma fasciculare (Fr.) KARST, A Poisonous Bitter Mushroom. Chemistry Letters 1495, 1979.

2) Shimizu K., Kikuchi T., Sugano N. and Nishi A.: Carotenoid and steroid syntheses by carrot cells